

## 4 - 5 伊豆半島の地殻変動

### Crustal Movement in the Izu Peninsula

国土地理院  
Geographical Survey institute

#### 1) 上下変動

第1図から第11図に伊豆半島の水準測量で得た上下変動を示す。第1図は三島市から御殿場市へ向けて北上する路線である。1979年から82年、1977年から1979年の両期間共に御殿場市側がそれぞれ1 cm余り沈下している。

第2図は御殿場市から東へ小田原市に至る路線で、小田原市側が相対的に沈下している。

第3図は熱海市と小田原市を結ぶ路線で、1979年以降、毎年行なわれてきた測量により小田原市側が相対的に年約1 cmの割合で沈下していることが明瞭である。

第4図は沼津市と熱海市の間の路線で、1979年以降の測量の結果からは、ほとんど変動はない。以上の結果を総合して、熱海と沼津を結ぶ線に対して北側に、小田原、御殿場にかけて沈下していることが判る。

次に、第5図は熱海市から南下して河津町に至る路線で、1981年末に終息しかかったかにみえた伊東市付近の隆起が継続していることが判る。

第6図は伊東と内浦を結ぶ路線で、中伊豆町付近に著しい隆起がみとめられる。

第7図は伊東市の北部から中伊豆町に至る短い路線で、それまでは変動がなかったのが、1981年5～6月から1982年5～6月にかけて、3 cmにのぼる中伊豆側の隆起が観測された。

第11図は、河津町から北上して修善寺町に至る路線で、修善寺側が相対的に隆起していることを示している。これらの諸結果から、伊豆半島北部の中央部から東部にかけて、1982年の前半においてなお、いぜんとして隆起がつづいていることが明らかとなった。

第14図～第17図は網平均した結果による変動量図である。上にのべた諸特徴が明瞭である。第15図の伊東験潮場付近の隆起量は、験潮資料から推定されるものより明らかに小さい。このため次のようにして再計算した結果を第16図に示す。上記期間における伊東－油壺の潮位差の変化量は31 mmであった。また油壺潮位の経年変化は $-4.6 \text{ mm/yr}$  (1961～80)である。これらの資料により伊東験潮場固定点の1982.5～7の標高は、1981.5～7のそれに26.0 mmを加えたものとした。

## 2) 水平変動

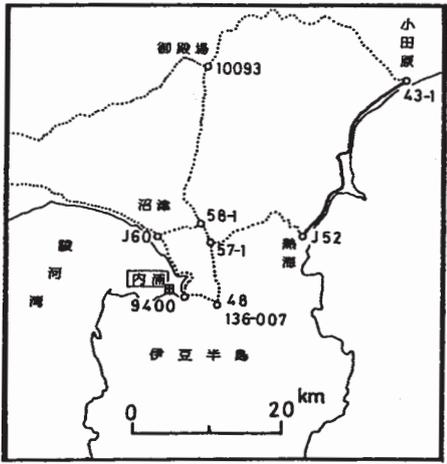
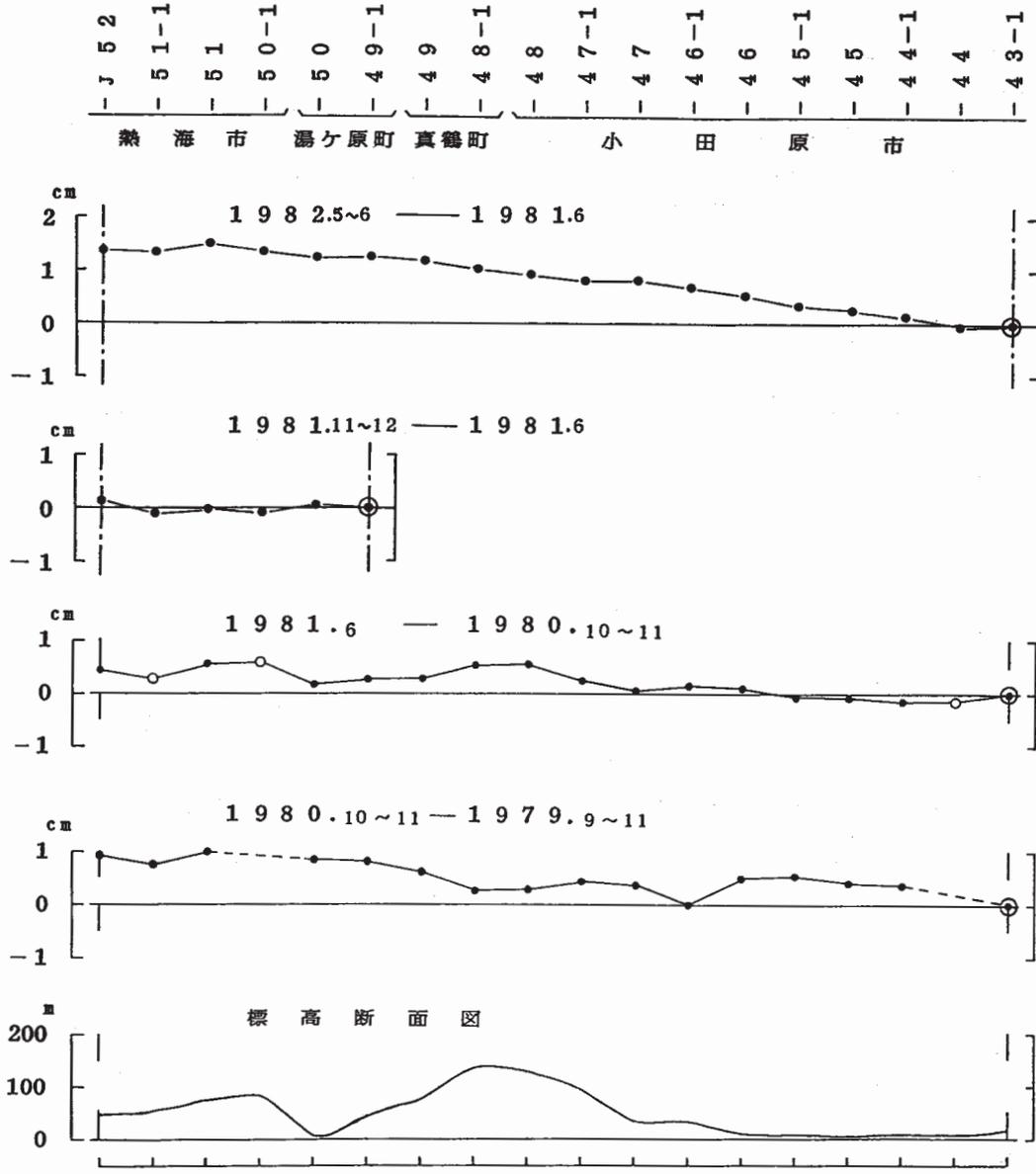
網代及び川奈の精密変歪測量の結果（第18, 19図）からは、顕著な変動はみとめられない。

### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：伊豆半島の地殻変動，連絡会報，**28**（1982），181-187.
- 2) 国土地理院地殻調査部：伊豆地方の地殻変動，連絡会報，**24**（1980），132-136.



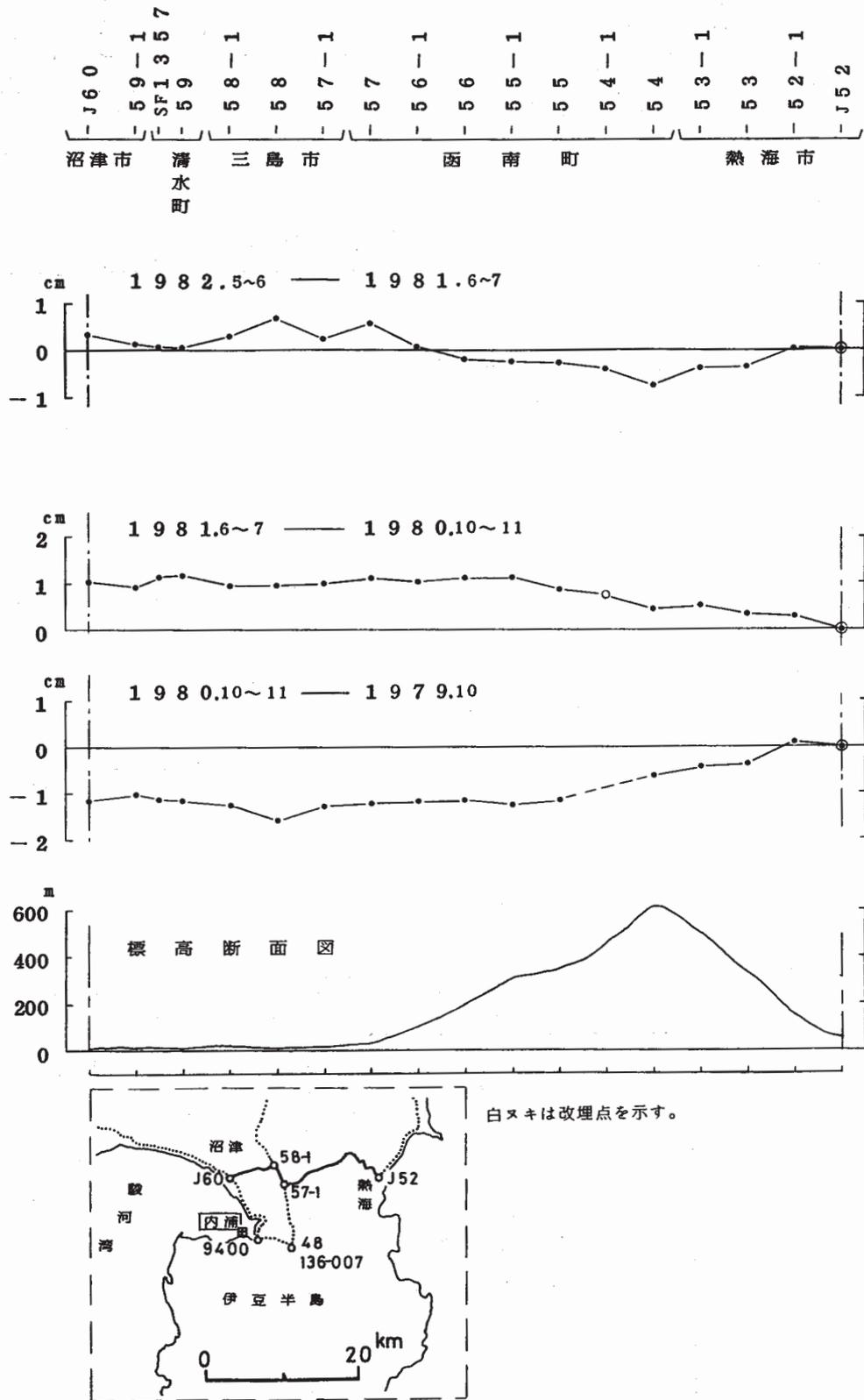




白×キは改埋点を示す。

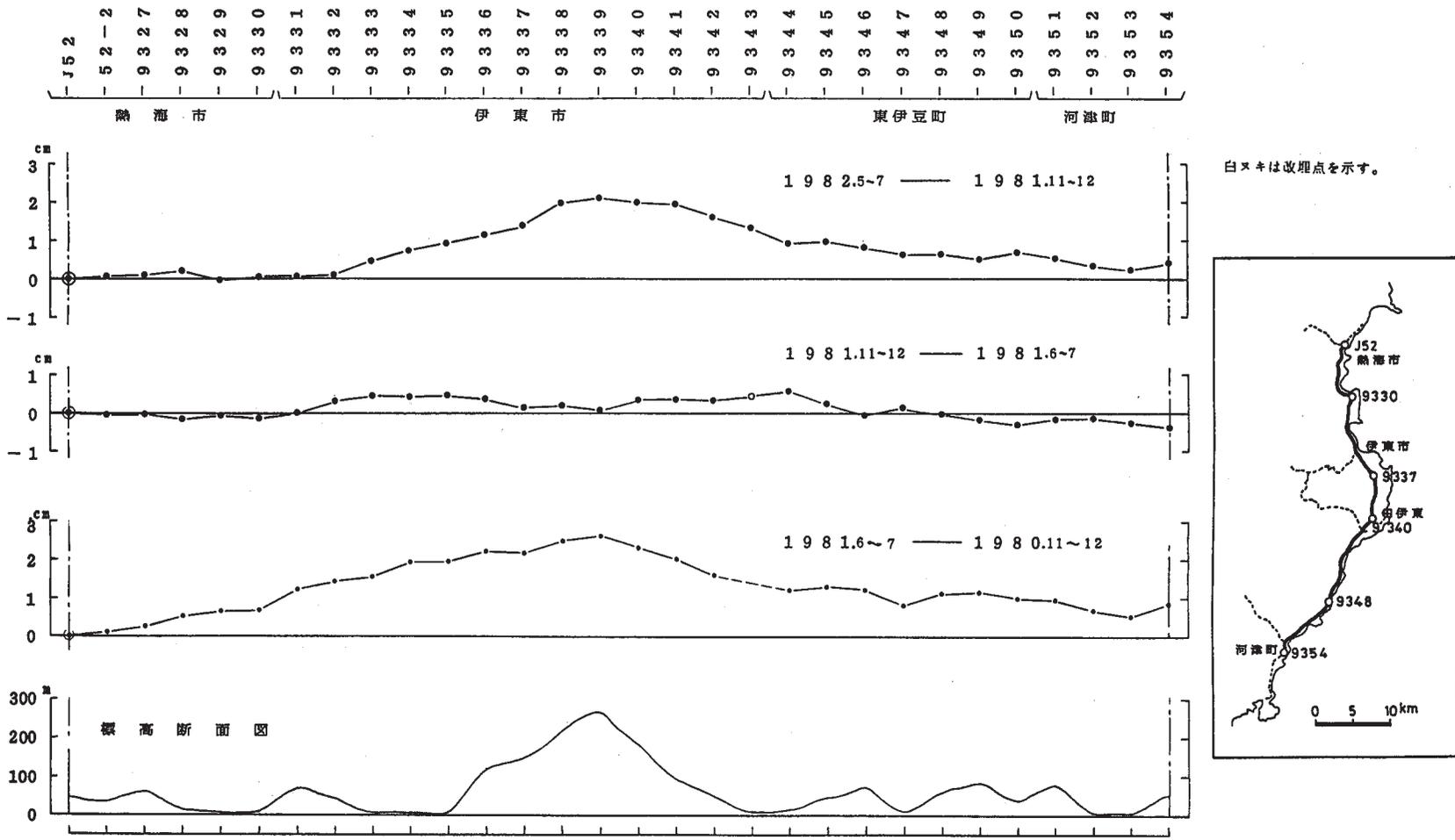
第3図 熱海～小田原間の上下変動

Fig. 3 Vertical movement between Atami and Odawara.

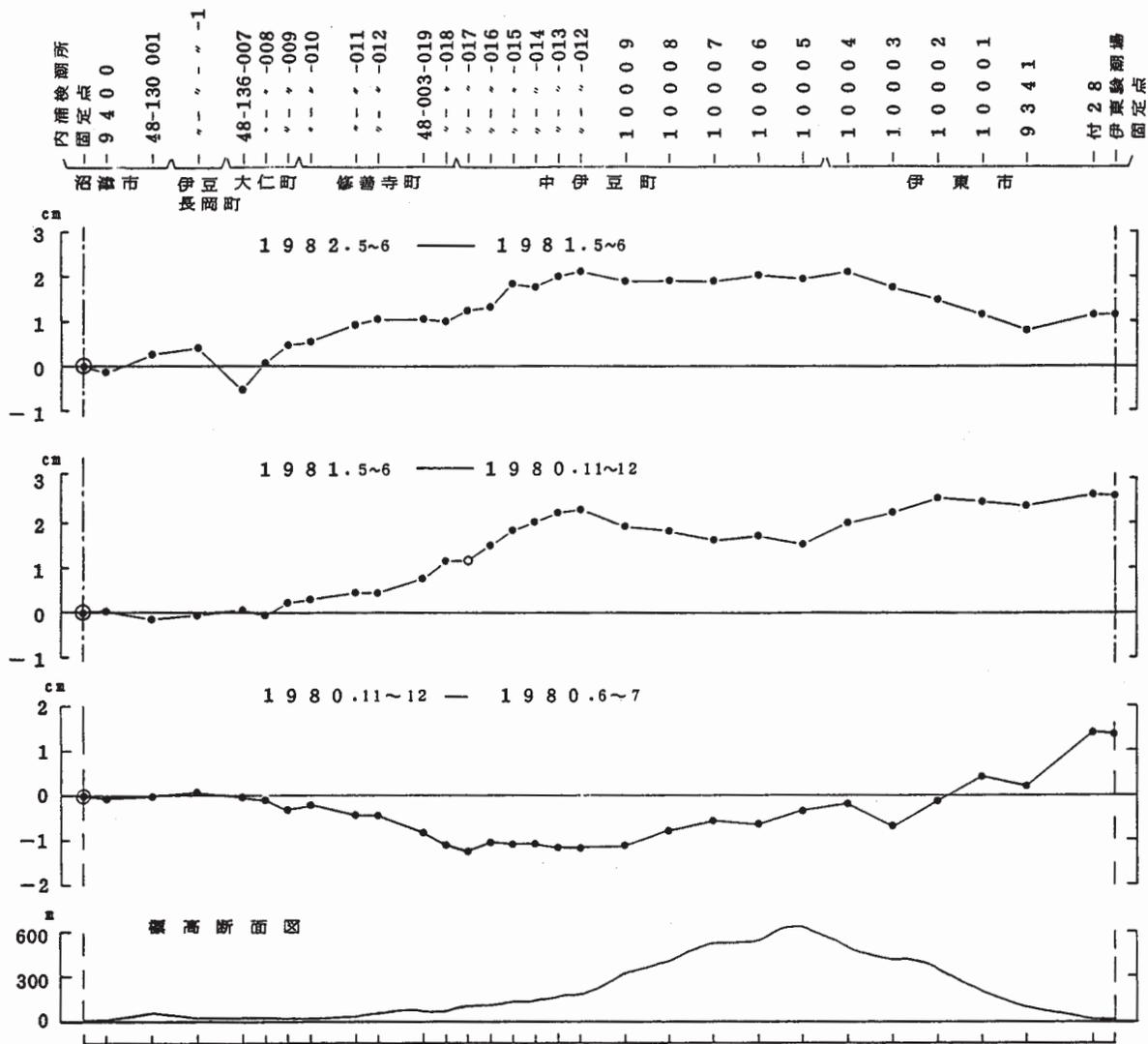


第4図 沼津～熱海間の上下変動

Fig. 4 Vertical movement between Numazu and Atami.

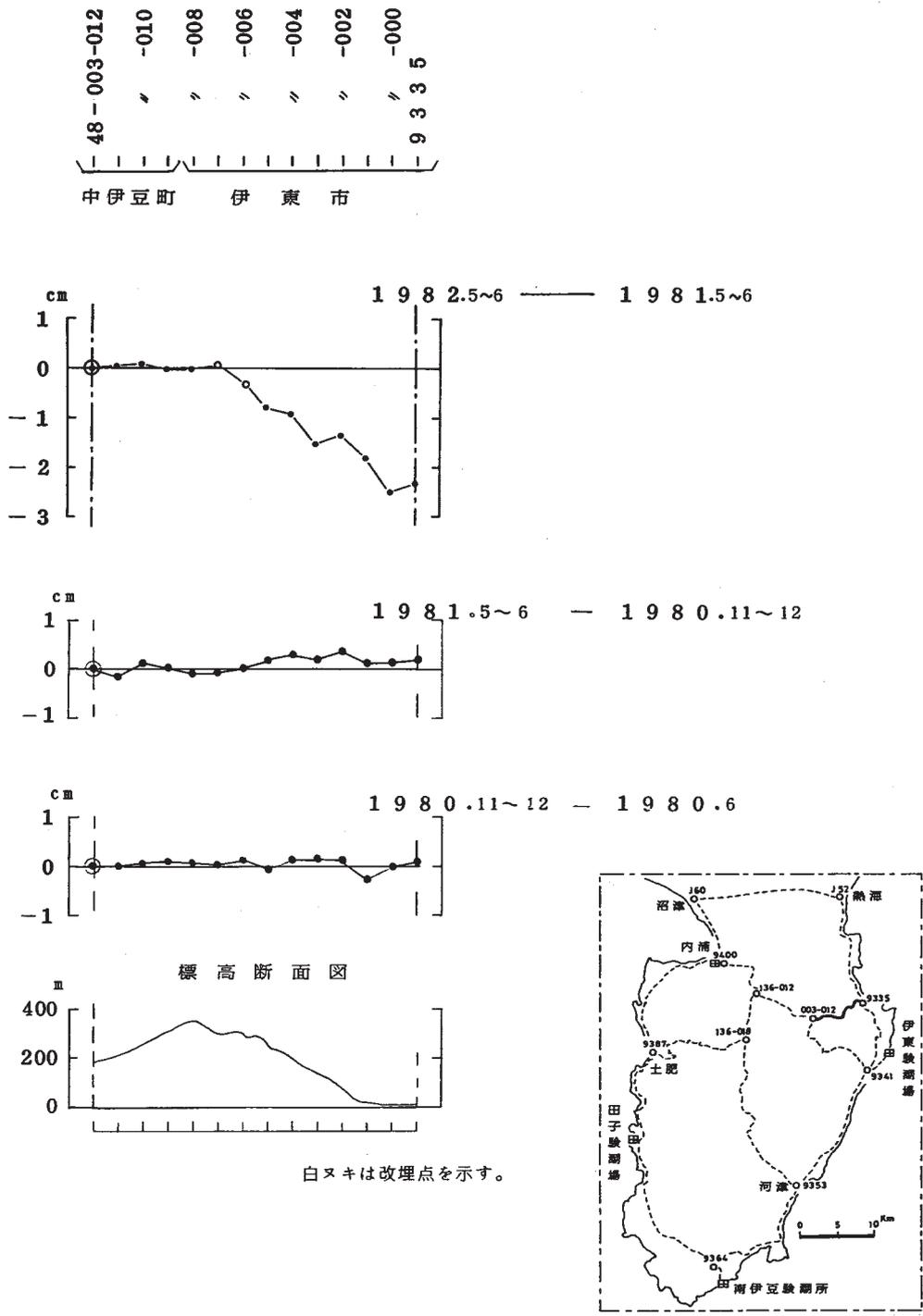


第5図 熱海～伊東～河津間の上下変動  
 Fig. 5 Vertical movement between Atami and Kawazu via Ito.



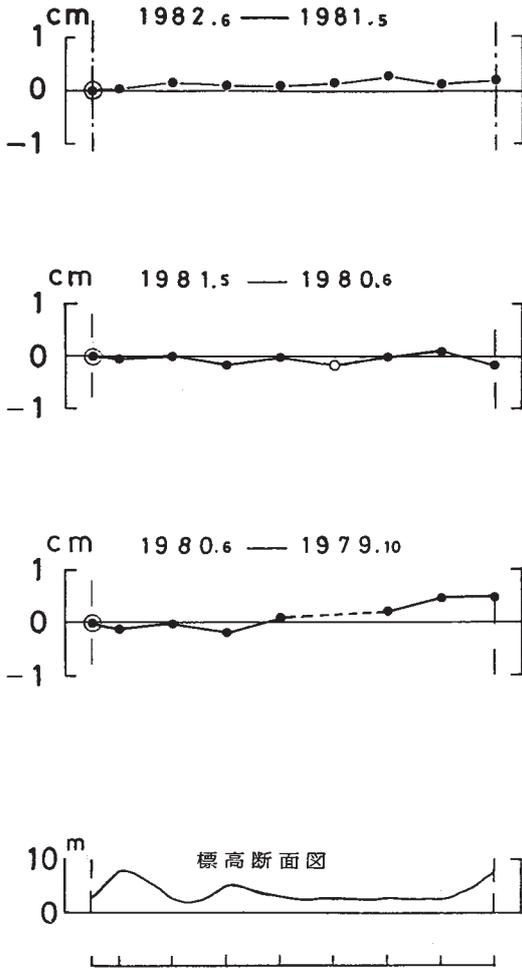
第6図 内浦～修善寺～中伊豆～伊東験潮場間の上下変動

Fig. 6 Vertical movement between Uchiura and Ito tidal station via Shuzenji and Nakaizu.

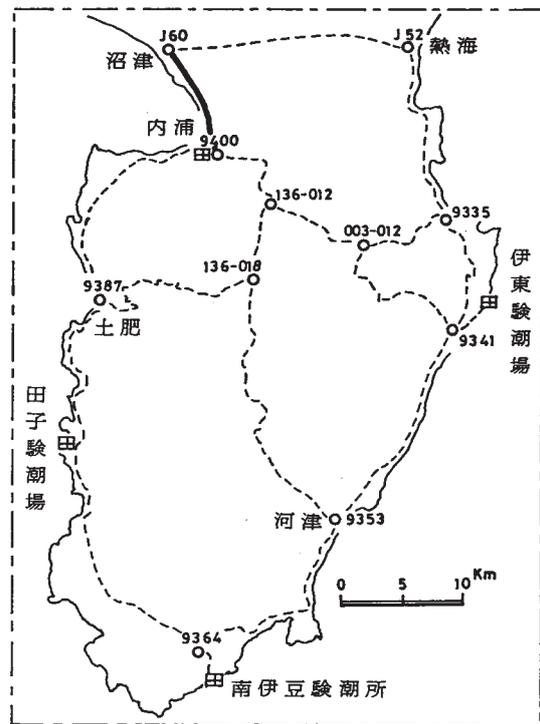


第7図 中伊豆～伊東間の上下変動  
 Fig. 7 Vertical movement between Nakaizu and Ito.

-J60  
 -SF1358  
 -9406  
 -9405  
 -9404  
 -9403  
 -9402  
 -9401  
 -9400  
 沼津市

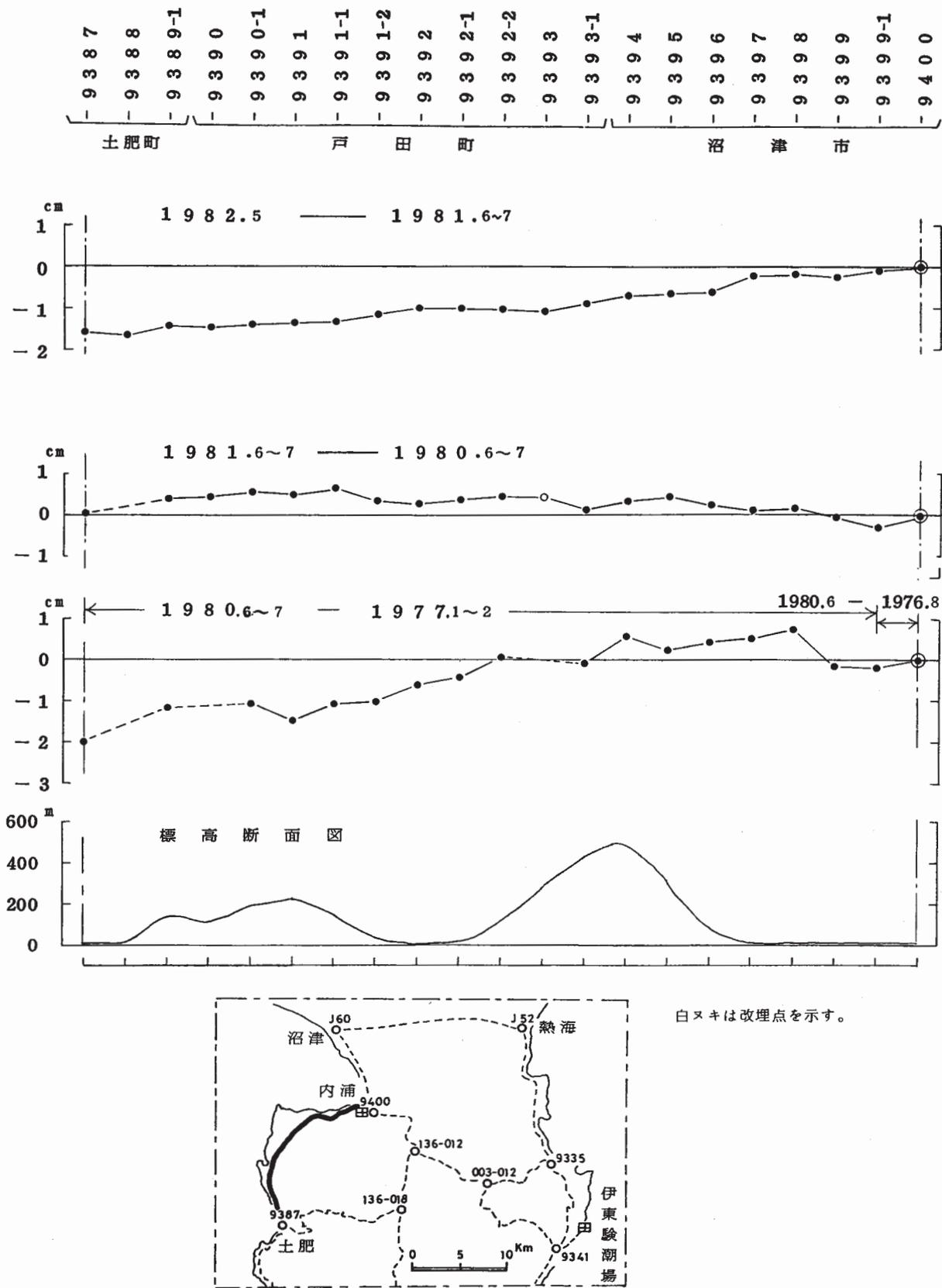


白マキは改埋点を示す。



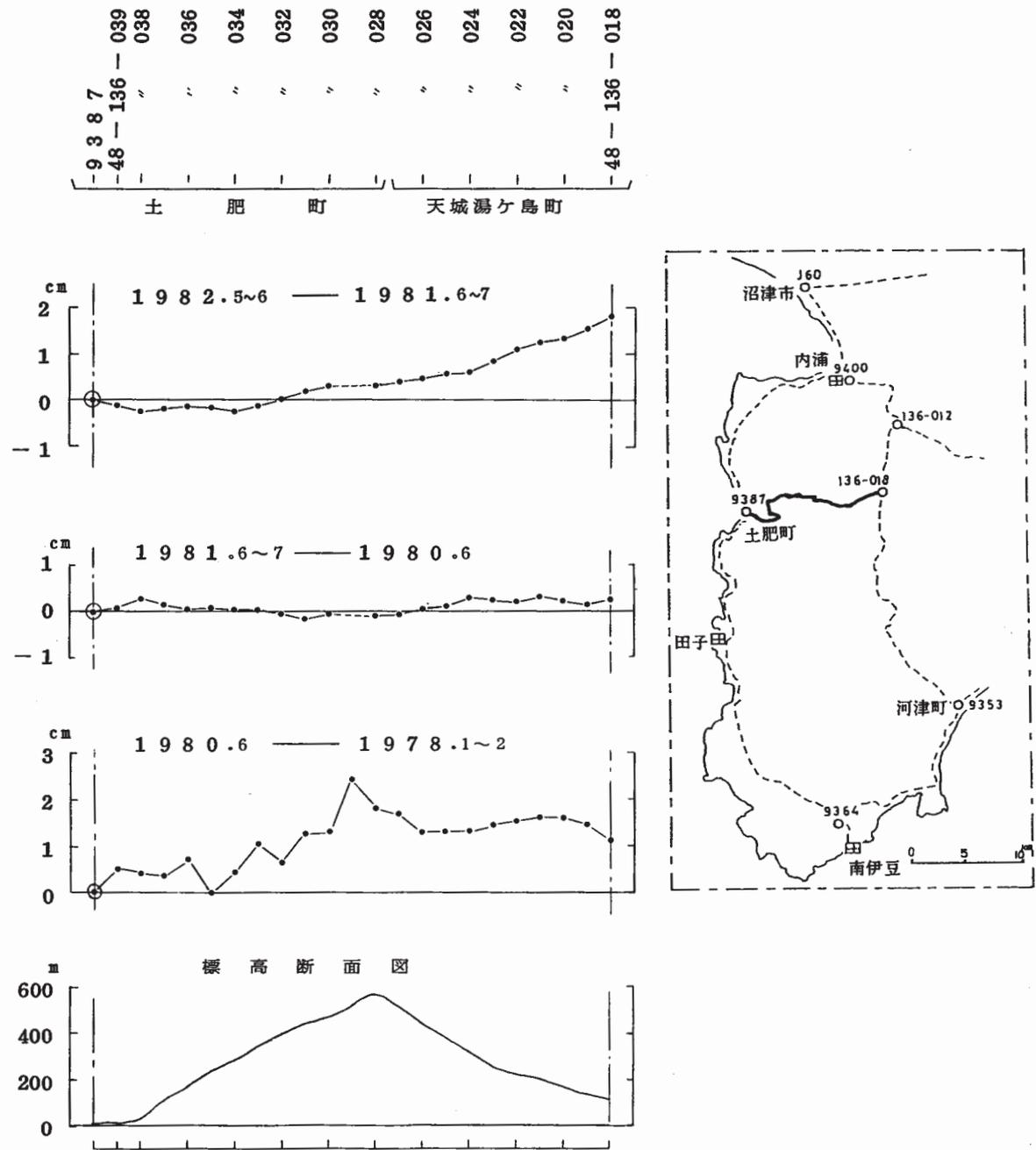
第8図 沼津～内浦間の上下変動

Fig. 8 Vertical movement between Numazu and Uchiura.



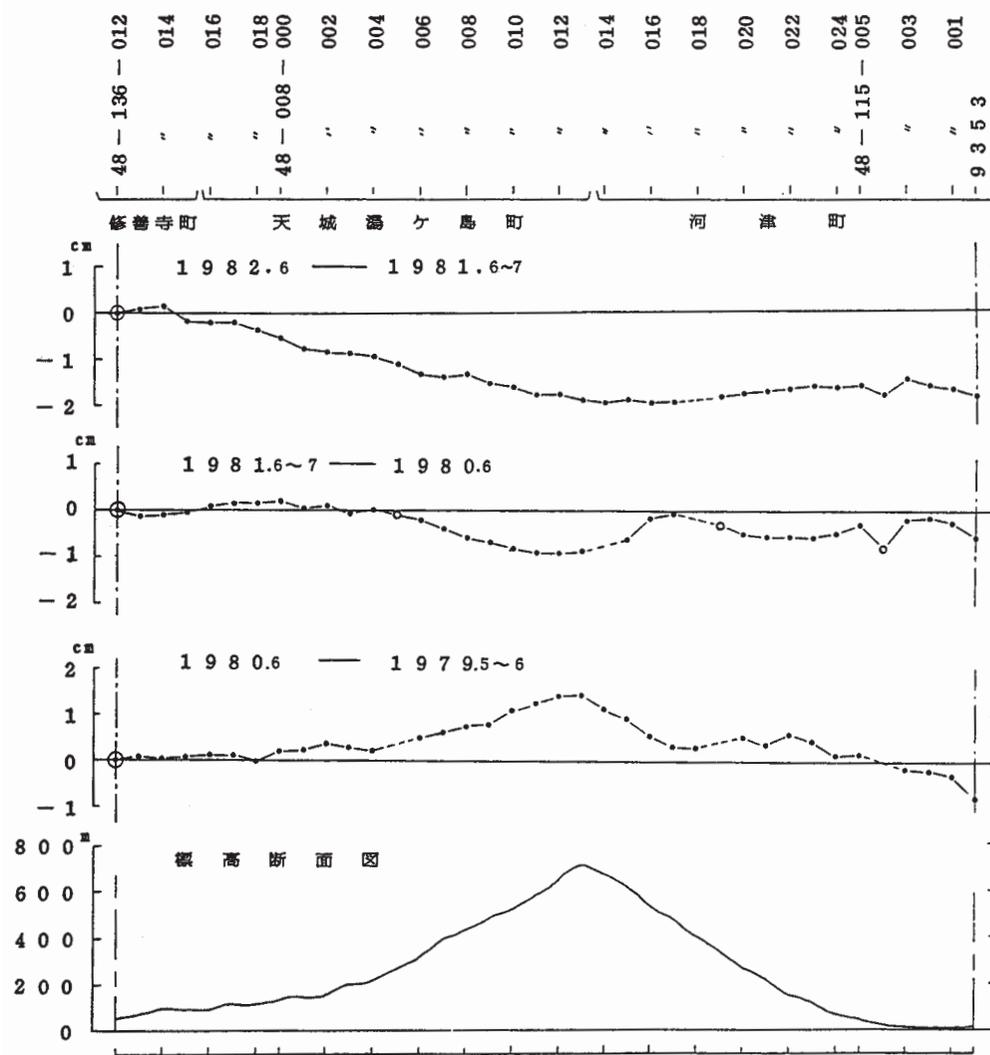
第9図 土肥～内浦間の上下変動

Fig. 9 Vertical movement between Doi and Uchiura.

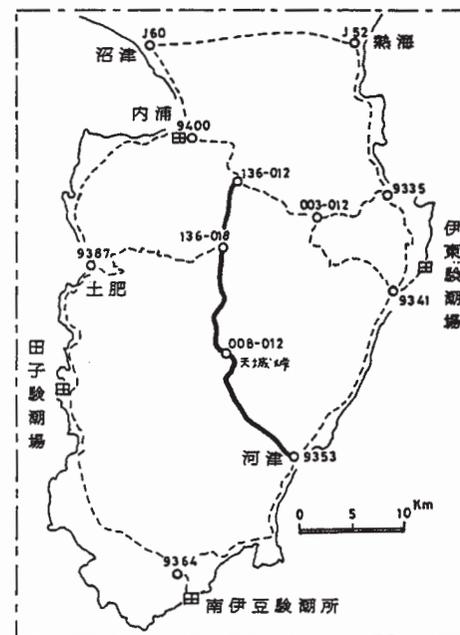


第10図 土肥～天城湯ヶ島間の上下変動

Fig. 10 Vertical movement between Doi and Amagi-yugashima.

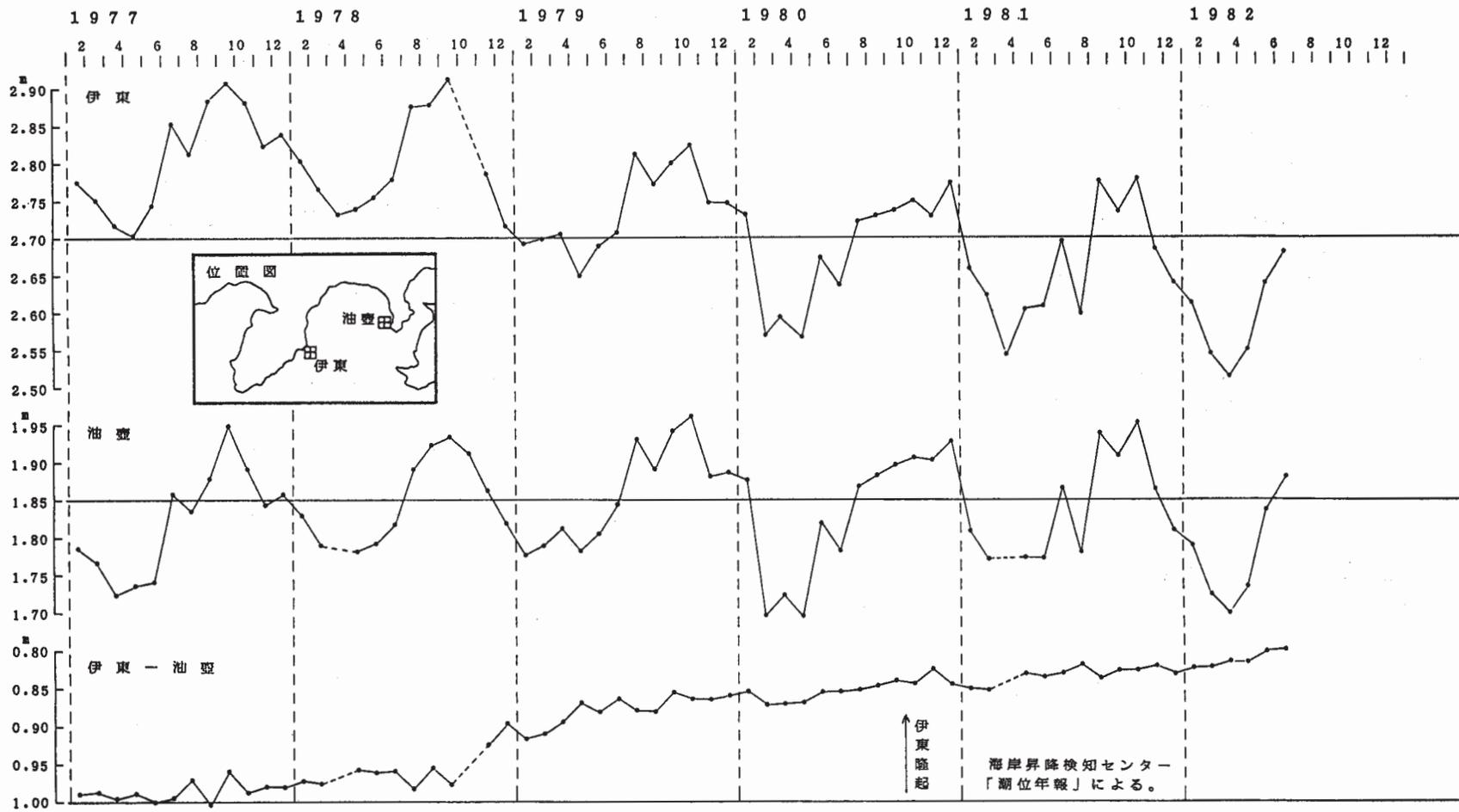


白×は改埋点を示す。



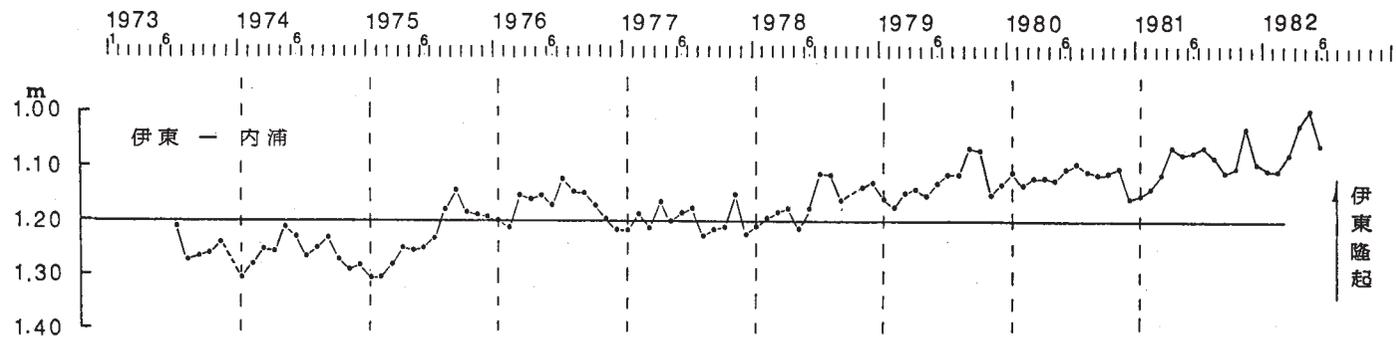
第 11 図 修善寺～河津間の上下変動

Fig. 11 Vertical movement between Shuzenji and Kawazu.

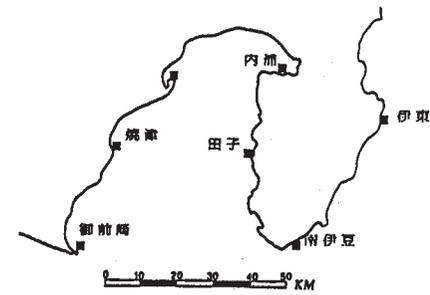


第12図 伊東・油壺験潮場の月平均潮位及び潮位差

Fig. 12 Difference in monthly mean sea level between Ito and Aburatsubo tidal stations.

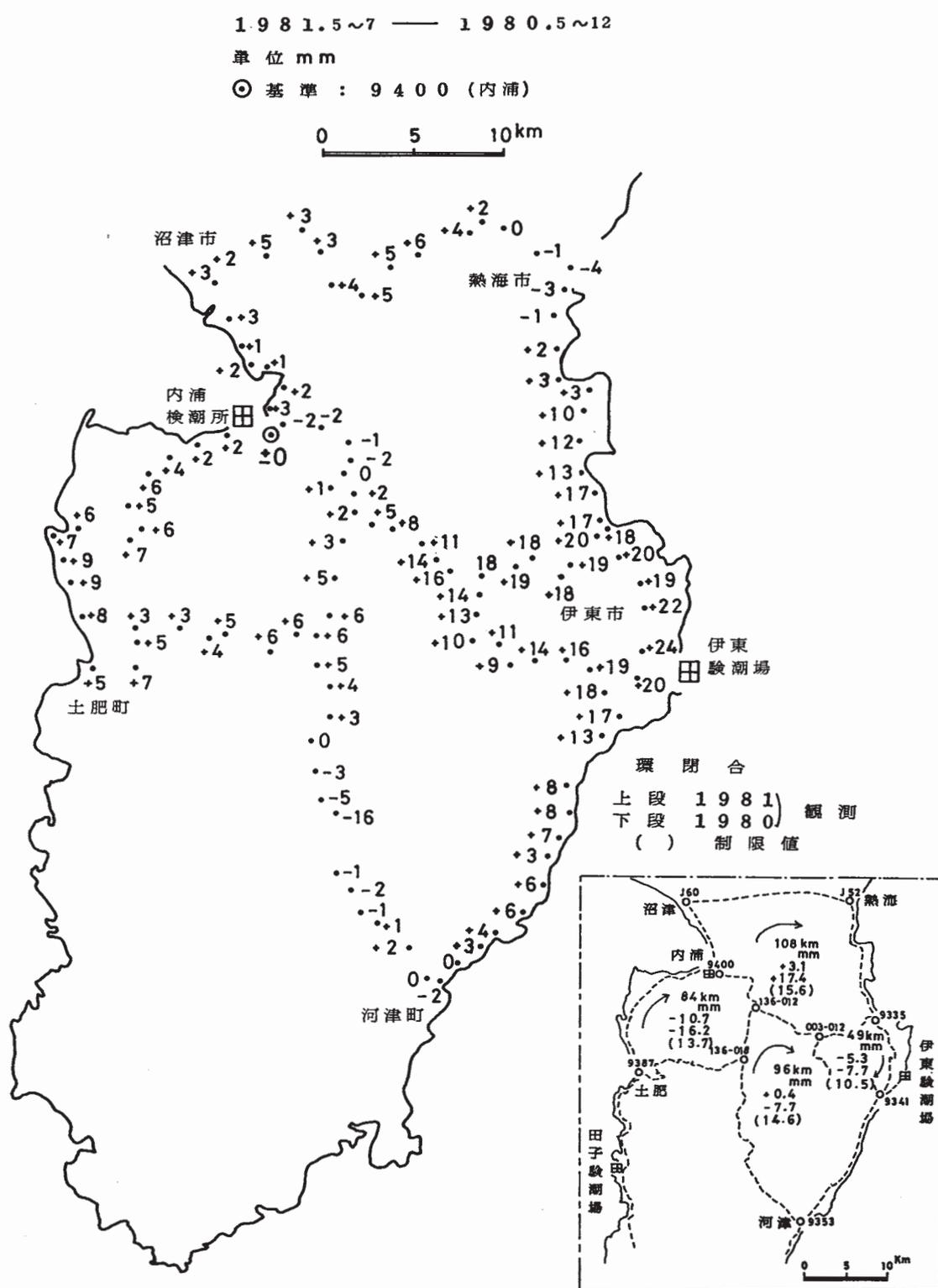


海岸昇降検知センター「潮位年報」による。



第13図 伊東・内浦験潮場間の月平均潮位差

Fig. 13 Difference in monthly mean sea level between Ito and Uchiura tidal station.



第14図 伊豆地方の上下変動

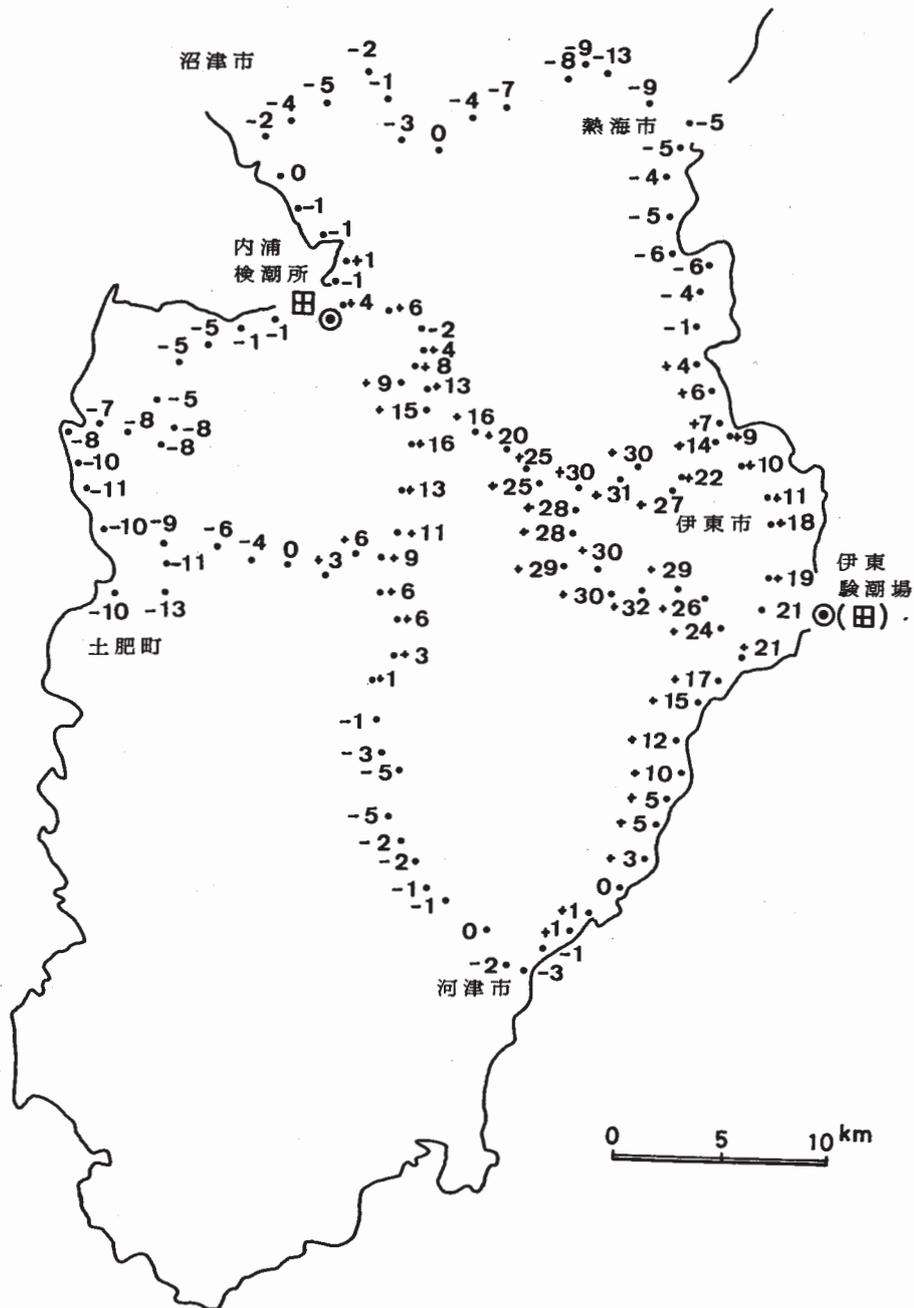
Fig. 14 Vertical movement in the Izu District.



1982.5~7 ——— 1981.5~7

単位 mm

基準：9400（内浦），伊東験潮場固定点



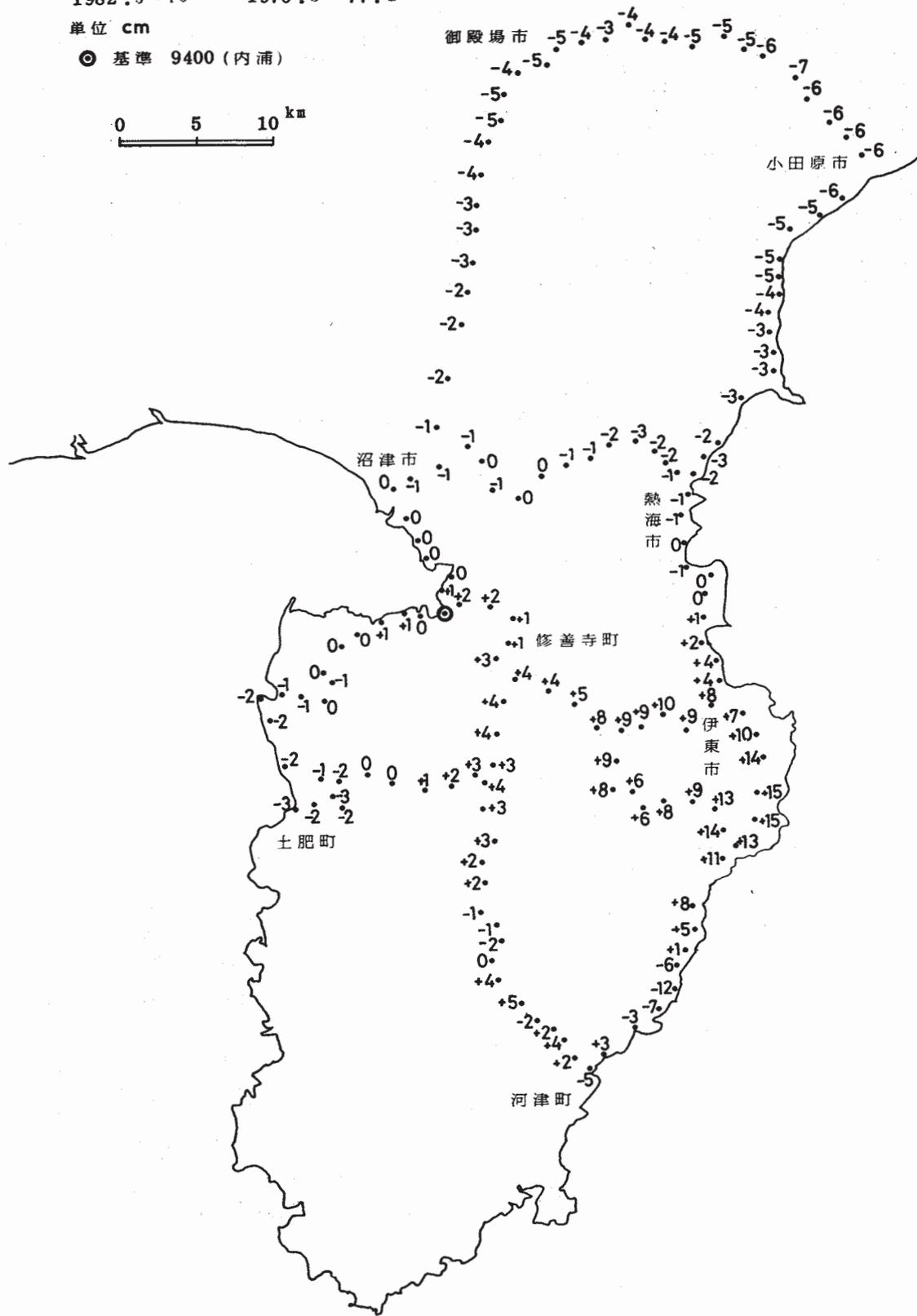
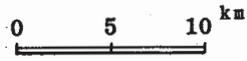
第 16 図 伊豆地方の上下変動

Fig. 16 Vertical movement in the Izu District.

1982.5~10 — 1976.8~77.2

単位 cm

◎ 基準 9400 (内浦)

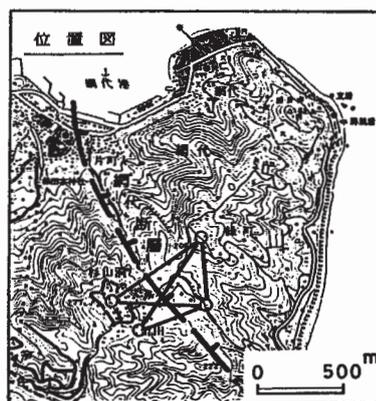
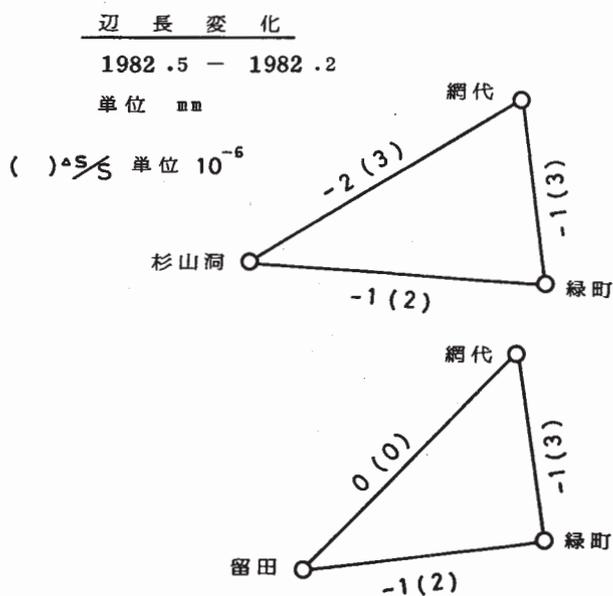
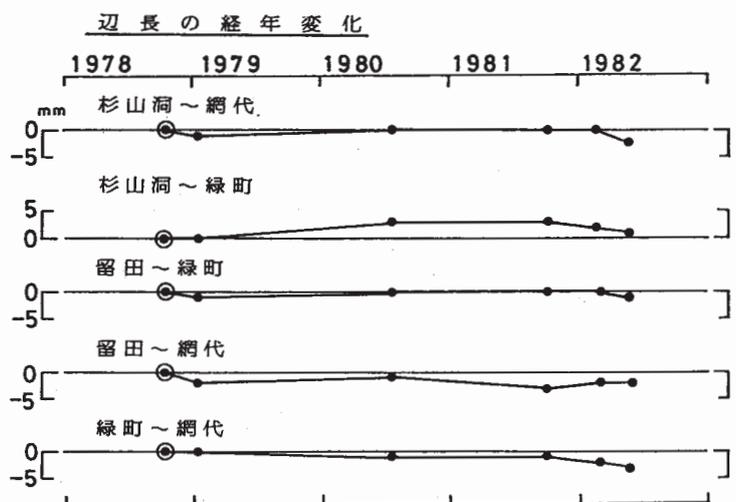


第 17 図 小田原及び伊豆半島北部の上下変動

Fig. 17 Vertical movement in the Odawara and Izu Peninsula.

観測年 区 間	①	②	③	④	⑤	⑥	差				
	1978.10	'79.1	'80.7	'81.9	'82.2	'82.5	⑥-①	⑥-②	⑥-③	⑥-④	⑥-⑤
杉山洞～網代	600.380	.379	.380	.380	.380	.378	-2	-1	-2	-2	-2
杉山洞～緑町	558.289	.289	.292	.292	.291	.290	+1	+1	-2	-2	-1
留田～緑町	428.601	.600	.601	.601	.601	.600	-1	0	-1	-1	-1
留田～網代	601.783	.781	.782	.780	.781	.781	-2	0	-1	+1	0
緑町～網代	327.846	.846	.845	.845	.844	.843	-3	-3	-2	-2	-1

測器：メコメーター ME 3000

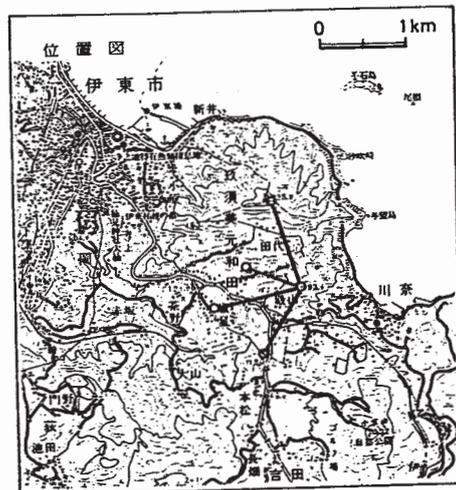
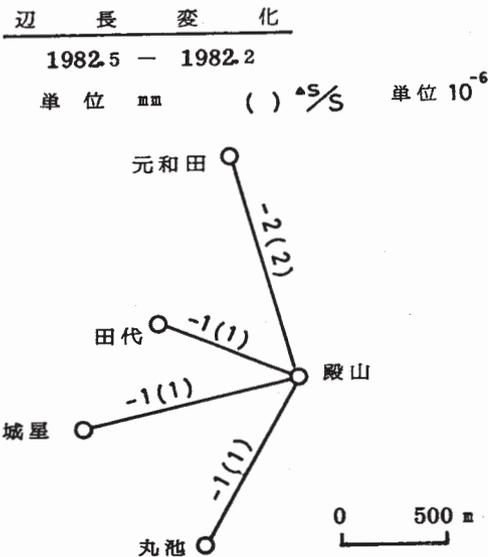
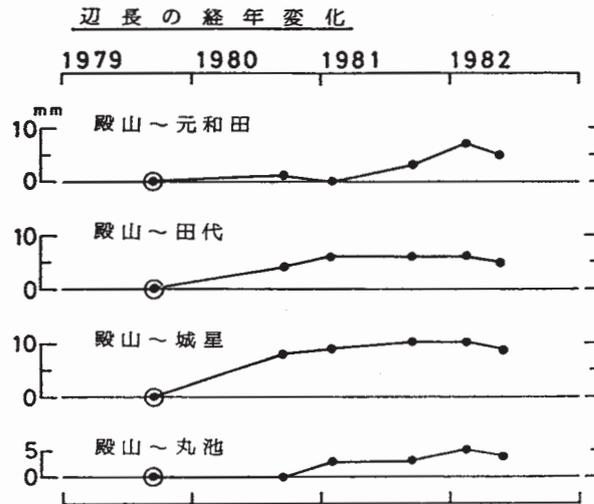


第 18 図 網代精密変歪測量結果

Fig. 18 Results of radial base line strain measurements in the Ajiro.

観測年 区間	①	②	③	④	⑤	⑥	差				
	1979.9	'80.9	'81.1~2	'81.9	'82.2	'82.5	⑥-①	⑥-②	⑥-③	⑥-④	⑥-⑤
殿山～元和田	1009.478	.479	.478	.481	.485	.483	+5	+4	+5	+2	-2
殿山～田代	667.040	.044	.046	.046	.046	.045	+5	+1	-1	-1	-1
殿山～城星	1009.702	.710	.711	.712	.712	.711	+9	+1	0	-1	-1
殿山～丸池	939.505	.505	.508	.508	.510	.509	+4	+4	+1	+1	-1

測器：メコメーター ME3000



第19図 川奈精密変歪測量結果

Fig. 19 Results of radial base line strain measurements in the Kawana.